

社会政策学会会員研究業績一覧

(2004年1月～12月刊行分)

凡 例

研究業績の表記法は、つぎのとおりです。

- (1) 学会員の配列は、五十音順です。
- (2) 単行の著書と編書、共編著書は、書名の前に*印を付けてあります。それ以外の論文などは、無印です。図書中の論文及び書評については、図書名に*印を付けてあります。
- (3) 図書や論文などは、著者(執筆者)、標題、副標題、出版者(出版社または雑誌名など)、巻号、発行年月、頁数の順に掲載しました。なお、注記と件名は、記入がなかった例もあり、不統一なので、ここでは省略しました。
- (4) このリストは、学会員の申告によるもので、表記法を統一したほかには、業績リスト作成事務局による学会員業績の取捨選択は、行なっておりません。

★ 学会員の業績リストに関するお問い合わせは、下記宛にご連絡ください。

〒194-0298 東京都町田市相原町4 3 4 2

法政大学大原社会問題研究所内、

社会政策学会業績リスト作成事務局

(責任者：鈴木 玲)

(Tel.042-783-2307,Fax.042-783-2311)

(E-mail:oharains@mt.tama.hosei.ac.jp)

著 者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
相澤興一	戦後日本における社会福祉と社会保険の循環的再編	日本的な反「福祉国家」への途	総合社会福祉研究(総合社会福祉研究所)	24	2004.3	2～17
	「社会的排除から社会復帰へ」の一考察	精神障害者とホームレス、隠された排除とむき出しの排除からの脱出を目指して	健康福祉研究(高崎健康福祉大学総合福祉研究所紀要)	1-1	2004.3	～
浅野慎一	中国人留学生・就学生の実態と受け入れ政策の転換		労働法律旬報	1576	2004.5	20～29
	イギリス建設労働運動の歴史・第2回	職種別結集の定着と組合運動	建設政策	93	2004.1	38～41
浅見和彦	イギリス建設労働運動の歴史・第3回	労使の産業別結集と全国交渉機構の成立	建設政策	94	2004.3	32～35

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
浅見和彦	イギリス建設労働運動の歴史・第4回	建設産業の構造変化と労使関係の再編	建設政策	95	2004.5	36～39
	運輸・一般労組の組合改革・再論	その思想と組織論の含意	専修経済学論集(専修大)	39-1	2004.7	1～65
	生協労働運動と労働組合改革の新しい課題(*生協労連関東地連生協研究会『生協労働運動の展開方向と改革課題』所収)		協同組合総合研究所		2004.12	1～7
	日本の労働組合運動の今日的位相と研究課題(*帯刀治・北川隆吉編著『社会運動研究入門』所収)		文化書房博文社		2004.12	111～143
阿部 誠	仕事と暮らしを守る社会的仕組み(*久野国夫編『産業と労働のニューストーリー』所収)		法律文化社		2004	198～231
	人々の連帯・共同と暮らしのセーフティネット	安心できる暮らしに求められる二つの条件	協同の発見	141	2004.4	4～21
天野寛子	農家家族における家族経営協定の課題	協定締結に至らない家族の事例分析	農村生活研究	47-3/4	2004.6	29～39
飯田 茂	障害のある子どもの在宅生活を支える父親の役割		子どものしあわせ(草土文化)		2004.6	36～39
	北海道立盲・聾・養護学校介護職員の職務内容と教育訓練		教育学研究科紀要(北海道大学大学院教育学研究科)	94	2004.10	231～264
居神 浩	家計構造からみた性別役割分業(*玉井金五・久本憲夫編著『高度成長のなかの社会政策』所収)	経済の高度成長と日本型家族システムの確立	ミネルヴァ書房		2004.2	133～154
五十嵐仁	2004年春闘をめぐる情勢と課題	総選挙後の新たな政治状況を踏まえて	労農のなかま(全農協労連)	486	2004.1	50～57
	世界の労働関係研究所・資料館・図書館(10)	スウェーデンの労働資料館と労働組合中央組織	大原社会問題研究所雑誌	542	2004.1	62～68
	世界の労働関係研究所・資料館・図書館(11)	ノルウェーの労働資料館と労働組合中央組織	大原社会問題研究所雑誌	543	2004.2	52～57
	書評:小熊英二『〈民主〉と〈愛国〉-戦後日本のナショナリズムと公共性』		大原社会問題研究所雑誌	544	2004.3	79～82

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
五十嵐仁	世界の労働関係研究所・資料館・図書館 (12)	オランダの国際社会史研究所	大原社会問題研究所雑誌	545	2004.4	57～61
	*現代日本政治	「知力革命」の時代	八朔社		2004.5	237
	書評：中北浩爾『1955年体制の成立』		歴史評論	649	2004.5	102～106
	世界の労働関係研究所・資料館・図書館 (13)	イギリスのTUC, 労働史研究資料センター, 人民の歴史博物館	大原社会問題研究所雑誌	546	2004.5	53～60
	世界の労働関係研究所・資料館・図書館 (14)	イギリス・ウォリック大学現代情報センターとリーズ訪問	大原社会問題研究所雑誌	547	2004.6	61～67
	「小泉ブーム」の消滅と民主党の躍進	参院選の結果をどう読むか	賃金と社会保障	1374	2004.7	4～12
	*この目で見えてきた世界のレイバー・アーカイヴス	地球一周：労働組合と労働資料館を訪ねる旅	法律文化社		2004.9	439
	座談会：現代日本とイデオロギーⅢ部	対抗的イデオロギーの現状と展望 科学的社会主義・社会民主主義・市民主義の盛衰	経済	109	2004.9	42～45
池上 惇	人間発達の経済学と国有価値の視点		経済科学通信	105	2004.8	17～22
	知的所有と財政学		財政と公共政策	26-2	2004.10	1～14
	ドイツ財政学と現代財政政策論	遠藤三郎教授による国家と経済の理論の確立	愛知大学経済論集	166	2004.11	1～13
	*知的所有と文化経済学(中谷武雄と共編著)	知的財産権文化が変革する現代経済	実務出版		2004.9	1～174
石井 聡	東ドイツにおける日常生活世界	作業班の経済的・社会的意味	大原社会問題研究所雑誌	552	2004.11	51～64
石井啓雄	みたび株式会社の農地取得問題について考える		農政と公務労働	88	2004.7	1～14
石井まこと	大分県内企業における人事管理の現状と課題(3)(阿部誠と共著)	「地域企業の人事システムに関する調査」報告	大分大学経済論集	55-5	2004.1	108～128
	企業の論理(*久野国夫編『産業と労働のニューストーリー』所収)	人事雇用戦略変化の方向性	法律文化社		2004.4	49～71
	英国の長時間労働問題	EU労働時間指令の適用除外をめぐる	労働の科学	59-6	2004.6	359～362

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
石井まこと	英国労働運動の復活?	公共サービス部門の争議活性化をめぐる	労働の科学	59-7	2004. 7	420～423
	英国における雇用保障と働き方の多様化	「柔軟な企業」モデルの現在	労働の科学	59-9	2004. 9	552～555
石田光男	人事改革の動向と労使関係の課題		国際経済労働研究 (国際経済労働研究所)	937	2004. 2	13～18
	提言 労働調査の過去・現在そして未来		日本労働研究雑誌	524	2004. 3	1
	成果主義人事の論点について		国際産研 (関西国際産業関係研究所)	23	2004. 5	32～37
	*『賃金とは何か－戦後日本の人事・賃金制度史 (楠田丘オーラルヒストリー)』(監修・解題) (楠田丘著, 梅崎修と)		中央経済社		2004.12	293, 3
	コメント; 今日, 労働組合はどんな機能・役割を果たしているのか	社会政策学会第109回大会労働組合部会の記録	賃金と社会保障	1383	2004.12	18～20
	目標面接のルールをつくり, 部門業績管理の合理性にもアプローチ	目指すのは「合意による経営」	連合	12月号	2004.12	18～20
	山本潔 「『日本の労働調査』をまとめて」へのコメント		労働法律旬報	1590	2004.12	60～64
居城舜子	職場における同一価値労働の比較のための方策について		世界の労働	54-2	2004. 2	22～31
泉谷眞実	有機性廃棄物政策は第2フェーズへの転換が不可欠		ニューカントリー	2004年10月号	2004.10	48～50
	地方自治体による「食品一般廃棄物」リサイクルの成立条件 (杉村泰彦と共著)	2004年度日本農業経済学会論文集	日本農業経済学会		2004.11	323～330
	スペシャリストの育成	定着住民を増やす視点で	デイリーマン	54-3	2004. 3	82～83
	農協による野菜収穫作業の請負と野菜産地発展における意義と課題 (*全国農業協同組合中央会編『協同組合奨励研究報告 第30輯』所収)		家の光出版総合サービス		2004. 9	11～29
伊藤周平	介護の保険化と介護保障の課題		月刊保団連	803	2004. 1	16～21

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
伊藤周平	社会保障改革とジェンダー (*杉本貴代栄編著『フェミニスト福祉原論』所収)	女性の年金問題と年金制度改革を中心に	ミネルヴァ書房		2004.3	221～237
	介護保険からみた「介護保険・支援費制度統合案」(*障害者生活支援システム研究会編『疑問あり！介護保険統合論』所収)	どこへ行く支援費制度	かもがわ出版		2004.4	92～102
	戦後社会福祉の再編	生存権保障の再構築へ	経済	104	2004.5	42～51
	徹底検証！介護保険制度と支援費制度 (*日本障害者センター編『高齢者介護のあり方を問う』所収)		本の泉社		2004.6	～
	介護保険と支援費制度の統合問題		福祉のひろば	416	2004.6	24～29
	介護保険の統括と展望		自治と分権	16	2004.7	89～95
	介護保険の見直しの課題と展望		隔月刊社会保障	395	2004.7	33～37
	次世代育成支援における保険構想と保育制度 (上)		保育情報	332	2004.7	7～11
	次世代育成支援における保険構想と保育制度 (下)		保育情報	333	2004.8	25～27
	介護保険見直しと支援費制度 (*花田春兆編『支援費風雲録』所収)		現代書館		2004.11	80～101
	介護保険見直しの動向と課題		月刊東京	252	2004.11	2～5
	*改革提言介護保険	高齢者・障害者の権利保障に向けて	青木書店		2004.12	1～251
伊藤セツ	紹介：深澤和子著『福祉国家とジェンダー・ポリティックス』		季刊労働総研クォーターリー	53	2004.1	56～57
	A Theoretical Study on the Interface between Paid and Unpaid Work and the Integration of both Works into the Socially Necessary Work (他3名と共同執筆)		The Asian Regional Association for Home Economics	11-1	2004.2	1～5
	高等教育への障害者アクセス；教育のユニバーサルデザイン (他1名と共同執筆)	米国の障害者支援システムに学ぶ	学苑：人間社会学部紀要(昭和女子大)	761	2004.2	89～97

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
伊藤セツ	養護学校における就労支援の現状— 障害者雇用促進のための課題（他1 名と共同執筆）		学苑：人間社 社会学部紀要 （昭和女子大）	761	2004.2	76～ 88
	アウグスト・ベーベルの女性論再考 に関する6つの章（*昭和女子大学 女性文化研究叢書 第4集『ベー ベルの女性論再考』所収）		御茶の水書房		2004.3	3～ 195
	書評：杉本貴代栄著『アメリカ社会 福祉の女性史』		昭和女子大学 女性文化研究 所紀要	31	2004.3	85～ 86
	The Potential of Women's Centers as Educational Facilities for Living and Consumer Education Involving Gender Perspectives（他1名と共同 執筆）		The Journal of Asian Regional Association for Home Eco- nomics	11-2	2004.6	119～ 125
	ジェンダー統計研究の動向（*原ひ ろ子他編『ジェンダー問題と学術研 究』所収）		ドメス出版		2004.8	146～ 154
伊藤正純	労働の変容と主体の形成（*日本社 会教育学会編『現代教育改革と社会 教育』所収）		東洋館出版社		2004.9	51～ 66
井上英夫	『固有のニーズ』をもつ人と人権保 障		障害者問題研 究	31-4	2004.2	8～ 17
	ハンセン病療養所を社会に（共編 著）	栗生楽泉園とまちの明 日を創る	月刊国民医療	4・5 月合 併号	2004.5	～
	*事典刊行委員会編『社会保障・社 会福祉大事典』（共編著）		旬報社		2004.10	950
	ハンセン病政策と人権		社会福祉研究	91	2004.10	42～ 48
	ハンセン病療養所将来構想の意義と 課題		賃金と社会保 障	1379	2004.10	4～ 17
岩佐卓也	「働き方の多様化」の論理		ポリティーク （旬報社）	7	2004.4	132～ 141
岩田正美	今、公的扶助は何を担うのか？		季刊社会保障 研究	39-4	2004.3	348～ 348
	デフレ不況下の「貧困の経験」（*樋 口美雄・大田清編『女性たちの平成 不況』所収）（濱本知寿香との共著）		日本経済新聞 社		2004.4	203～ 234

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
岩田正美	誰がホームレスになっているのか？	ポスト工業社会への移行と職業類型等から見たホームレスの3類型	日本労働協会雑誌	528	2004.7	49～58
	貧困になるリスク・貧困であることのリスク (*橋本俊詔編『リスク社会を生きる』所収)		岩波書店		2004.12	125～159
岩永理恵	「最低限度の生活」の規範	保護基準策定過程(1948～69)からの検討	社会福祉学	45-1	2004.7	3～12
ウェザーズ・チャールズ	*日本生産性運動の原点と展開 (海老塚明と共編)		生産性労働情報センター		2004.7	1～264
	Temporary Workers, Women, and Labor Policymaking in Japan.		Japan Forum	16-3	2004.Autumn	423～447
上西充子	第I部第1章「未経験者歓迎」の中途採用募集について、第II部第1章「未経験者歓迎」求人における採用の実際 (*連合総合生活開発研究所編『若年者のキャリア形成に関する調査報告書』所収)		連合総合生活開発研究所		2004.2	21～34, 59～86
	フリーター問題に関する先行研究の整理と今後の課題		生涯学習とキャリアデザイン (法政大学キャリアデザイン学会紀要)	1	2004.2	83～95
	キャリアステージと仕事への意欲 (*電機連合総合研究センター編『若年層における仕事への意欲とキャリアに関する調査』所収)		電機連合総合研究センター		2004.3	145～160
	若者のキャリア展望とフリーター		産政研フォーラム (中部産業・労働政策研究会)	63	2004.7	11～15
	Off. JTと自己啓発の実態	個人のニーズはどこにあるのか	Business Labor Trend (労働政策研究・研修機構)		2004.8	7～9
	能力開発とキャリア (*佐藤博樹・佐藤厚編『仕事の社会学』所収)	これからのキャリア形成	有斐閣		2004.12	17～32

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
上原慎一	新卒労働市場の構造転換		自治研かごしま(鹿児島県地方自治研究所)	80	2004.3	19～24
	“新鋭”製鉄所における運輸部門の合理化と社外企業の労働		北海道大学大学院教育学研究科紀要	94	2004.10	163～192
	鉄鋼業における保全工の労働と教育訓練		北海道大学大学院教育学研究科紀要	94	2004.10	115～148
埋橋孝文	アジア社会保障研究のインプリケーション		同志社大学ヒューマン・セキュリティ研究センター年報	1	2004.3	216～222
	生活保護見直しにあたっての留意点と方向性(*『公的扶助システムのあり方に関する実証的・理論的研究-総合研究報告書-』所収)(所道彦・田宮遊子と共著)		厚生労働科学研究費平成15年度総括研究報告書		2004.3	95～113
	生活保護見直しの論点と視点(所道彦・田宮遊子と共著)		社会保障研究(国立社会保障・人口問題研究所)	39-4	2004.3	383～388
	中国の社会保障Part 2(座長報告)	失業保険と医療保険制度改革を中心にして	社会政策学会誌	11	2004.3	167～171
	座談会アジア諸国の福祉戦略をめぐるって(*大沢真理編著『アジア諸国の福祉戦略』所収)		ミネルヴァ書房		2004.6	279～344
	*生涯学習と新しい教育体制(ジョン・フィールド著 矢野裕俊らと共訳)		学文社		2004.6	280
	海外社会保障研究の展望(座談会)		海外社会保障研究(国立社会保障・人口問題研究所)	148	2004.9	3～31
	海外における「福祉」の動向と国際比較		海外社会保障研究(国立社会保障・人口問題研究所)	148	2004.9	42～45
	転機における韓国の社会的セーフティネット(座長報告)	失業政策と生活保護の日韓比較	社会政策学会誌	12	2004.9	143～146

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
埋橋孝文	中国の多様で奥行き深い経済・社会を見る		労働ペン (日本労働ペンクラブ)	116	2004.10	2
	訪中での新しい発見とその感想		労働ペン (日本労働ペンクラブ)	116	2004.10	6
	公的扶助制度の国際的動向と日本の課題		世界の労働 (日本ILO協会)	54-11	2004.11	32～40
	介護保険2005年改正をめぐって (*『高齢化社会における社会政策の韓国・日本比較』所収)		韓国保健社会研究院		2004.12	109～124
浦坂純子	人的資本蓄積における世代間効果の分析 (西村和雄・平田純一・八木匡と共著)		大学論集 (広島大学高等教育研究開発センター)	34	2004.3	149～160
	「阪神地区公立高等学校出身者のキャリア形成に関する調査」報告 (森山智彦と共著)		評論・社会科学 (同志社大学人文学会)	73	2004.3	1～30
	創業支援施策に関する実証分析 (堀内映志・八木匡・森山智彦と共著)	創業者のキャリアの視点から	都市政策 (神戸都市問題研究所)	116	2004.7	132～136
	「創業者のキャリアと経営資源確保に関する調査」報告 (堀内映志と共著)		評論・社会科学 (同志社大学人文学会)	74	2004.12	1～28
海老一郎	釜ヶ崎日雇労働者市場からみた失業・雇用問題 (*経済編集部編『仕事と生活が壊れていく シンポジウム「日本の勤労者」』所収)	「ホームレス」問題に隠されているものは何か	新日本出版社		2004.6	94～98
江里口拓	ウェブにおける“産業の支配”と一次大戦		愛知県立大学文学部論集 (社会福祉学科編)	52	2004.3	1～28
遠藤公嗣	Are Personnel Assessments Fair? Masami Nomura and Yoshihiko Kamii (eds.) Japanese Companies: Theories and Realities		Trans Pacific P r e s s (Melbourne Australia)		2004	1～19
	イギリスにおける人事査定制度		明治大学社会科学研究所紀要	42-2	2004	5～32
	住友生命ミセス差別事件と遠藤意見書		女性労働研究	45	2004	45～48

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
遠藤公嗣	賃金形態論の途絶：小池和男「賃金の上がり方」論		大原社会問題研究所雑誌	553	2004.12	47～69
王 文亮	中国農村部における住民最低生活保障制度の構築と課題		九州看護福祉大学紀要	6-1	2004.3	5～19
	中国の社会保障（*講座・福祉国家のゆくえ4大森真理編著『アジア諸国の福祉戦略』所収）	近代国家にふさわしい制度づくりの現状と課題	ミネルヴァ書房		2004.6	153～182
	*九億農民の福祉	現代中国の差別と貧困	中国書店		2004.10	589
	中国の高齢者扶養をめぐる問題		倫理（倫理研究所）	53-11	2004.11	27～33
大塩まゆみ	福祉文化の創造（*浅井春夫監修・水野喜代志編著『これからの高齢者福祉論－高齢者一人ひとりを大切にするために』所収）		保育出版社（教育情報出版）		2004.4	157～162
	ジェンダーの視点からみた社会福祉政策の検討（*秋山智久・井岡勉・岡本民夫・黒木保博・同志社社会福祉学会編『社会福祉の思想理論と今日的課題』所収）		筒井書房		2004.10	75～83
	地方自治体における次世代育成支援対策推進行動計画策定の課題	福井市の取り組みから	保育情報（保育研究所）	335	2004.10	23～35
大重光太郎	*グローバル化と知的様式（ヨハン・ガルトゥング著 矢澤修次郎と共訳）	社会科学方法論に関する七つのエッセー	東信堂		2004.3	viii, 286
	ドイツ職業教育訓練レジームに関する考察	コーポラティズムの視角から	ドイツ学研究（独協大学）	52	2004.9	135～164
大須眞治	失業状態は改善されたか		労働総研クォーターリー（労働運動総合研究所）	53	2004.1	20～28
	雇用をめぐる青年の要求実現の道を探る（藤田宏と共著）		労働運動（新日本出版社）	477	2004.3	22～32
	*仕事と生活が壊れていく（小越洋之助・唐鎌直義ほか共著 『経済』編集部編）		新日本出版社		2004.6	230
	今日の不安定就業労働者の実態と人権（伍賀一道・萬井隆令他と共著）		労働総研クォーターリー（労働運動総合研究所）	55.56	2004.11	25～37, 121～126

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
大杉由香	地域再生には何が必要か	事例研究を通して必要な視点と条件を探る	人間関係学研究(大妻女子人間関係学部紀要)	5	2004.3	167～180
	小林一三(*大東文化大学起業家研究会『世界の起業家50人』所収)		学文社		2004.4	～
	*秋田市史 第4巻	近現代Ⅰ通史編	秋田市		2004.6	～
	経済史の分析視角		企業診断(同友館)	51-6	2004.6	78～82
	死亡統計から秋田市民の生活を考える	求められる行政的対応とは何か	秋田市史研究(秋田市)	13	2004.7	～
	日本農業の変遷と未来	日本経済史は農業をどう考えてきたか	企業診断(同友館)	51-7	2004.7	112～116
	産業史・経営史・企業史のゆくえ	未来を展望するためにいま何が問われているのか	企業診断(同友館)	51-8	2004.8	112～116
	生活史と日本経済史	生活の変遷をどう捉えてきたのか	企業診断(同友館)	51-9	2004.9	102～106
	日本経済史の国際視角	脱重入欧をめぐる視点の変遷と展望	企業診断(同友館)	51-10	2004.10	87～91
	日本経済史の視点から見た経済政策	何を見つめ何を看過したか	企業診断(同友館)	51-11	2004.11	106～110
日本経済史の教育	どこに問題があり、何を伝え切れていないのか	企業診断(同友館)	51-12	2004.12	95～99	
大谷 強	施設入所から地域生活への移行の促進		地域福祉研究(日本生命済生会福祉事業部)		2004.3	31～39
	学資保険判決からみる、生活保護制度の課題		京都フォーラム(京都府自治総合研究所)	88	2004.5	13～16
	総合的なケアシステムの構築	支援費制度と介護保険制度との関連について	経営協(全国社会福祉施設経営者協議会)	244	2004.5	15～18

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
大谷 強	介護保険と市民参加	介護保険の達成した水準と課題の検証からケアの現在, 制度と現実のはざま	女性学研究 (大阪女子大学女性学研究センター)		2004.6	64～91
	市民にとっての介護保険制度の見直し		市政研究 (大阪市政調査会)	145	2004.10	108～116
大西祥恵	被差別部落の実態と変容 (*玉井金五・久本憲夫編著『高度成長のなかの社会政策-日本における労働家族システムの誕生』所収)	大阪府和泉地区の事例を通して	ミネルヴァ書房		2004.2	181～211
	若者に対する就業支援政策の現状・課題と若者のニーズ (*部落解放・人権研究所編『社会的に不利な立場に置かれたフリーター その実情と包括的支援を求めて』所収)	社会政策・同和対策事業・地域就労支援事業	部落解放・人権研究所		2004.3	186～214
	若者労働市場の実態 (*部落解放・人権研究所編『社会的に不利な立場に置かれたフリーター その実情と包括的支援を求めて』所収)	全国・大阪・被差別部落	部落解放・人権研究所		2004.3	10～23
	被差別部落における地場産業の存立基盤 (*日本中小企業学会編『アジア新時代の中小企業 日本中小企業学会論集23』所収)	大阪府和泉地区人造真珠産業のケース・スタディより	同友館		2004.6	61～73
大吹勝男	*流通諸費用の基礎理論		梓出版社		2004.5	114
大森真紀	「就業形態の多様化」が意味するもの		ジェンダー白書	2	2004.3	154～168
	均等法20年 進まぬ性差別禁止		ひろばユニオン		2004.9	32～35
大山 博	書評：倉田剛著『リバースモーゲージと住宅』		大原社会問題研究所雑誌	542	2004.1	77～80
	*福祉・健康・環境をテーマとした地域活性化のためのまちづくりに関する調査研究		平成15年度科研費研究成果報告書		2004.3	
	諏訪市における環境福祉の取り組みと地域福祉計画 (*炭谷茂編『環境福祉学入門』所収) (山田勝文と共同執筆)		環境新聞社		2004.5	125～145

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
大山 博	社会起業とソーシャルインクルージョン (*炭谷茂・大山ほか編『ソーシャルインクルージョンと社会起業の役割』所収)	地域福祉計画推進のために	ぎょうせい		2004.12	68～83, 163～201, 227～235
岡 伸一	*失業保障制度の国際比較		学文社		2004. 1	265
	高齢社会における社会保障と私的保障の新しい役割分担		保険学雑誌 (日本保険学会)	584	2004. 3	3～20
	『地球市民』の共生 (*東洋英和女学院大学編『共生を多角的に考える』所収)	国際社会保障論の構築をめざして	非売品		2004. 3	41～47
	年金改革論議によせて		週刊社会保障	2277	2004. 3	46～49
	ILOのアジア戦略 (*大澤真理編『アジア諸国の福祉戦略』所収)		ミネルヴァ書房		2004. 6	249～276
	Pension Reform in France		The Japanese Journal of Social Security	3-1	2004. 6	1～9
	所得保障における国際比較		海外社会保障研究	148	2004. 9	38～42
	社会保障・社会福祉の国際基準 (*事典刊行委員会編『社会保障・社会福祉事典』所収)		旬報社		2004.10	715～721
岡田一郎	書評：山口二郎・石川真澄編『日本社会党－戦後革新の思想と行動－』		歴史学研究 (歴史学研究会)	789	2004. 6	72～75
	書評論文：女性たちは「宝塚」を乗り越えられるか (ジェニファー・ロバートソン著 堀千恵子訳『踊る帝国主義－宝塚をめぐるセクシャルポリティクスと大衆文化－』所収)		社会理論研究 (社会理論学会)	5	2004. 7	133～134
	書評：岩田昌征『社会主義崩壊から多民族戦争へ－エッセイ・世紀末のメガカオス－』		歴史学研究 (歴史学研究会)	795	2004.11	72～74
荻原康一	障害者の就労と公的責任	共同作業所と運営助成金を中心に	社会政策学会誌	12	2004. 9	258～280
小越洋之助	クローズアップ ナショナルミニマム問題		賃金と社会保障	1363	2004. 2 上旬号	22～31

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
小越洋之助	2004年・年金改革法をどうみるか		賃金と社会保障	1374	2004.6 下旬号	4～ 12
	ナショナル・ミニマムと公的年金	最低保障年金への接近	賃金と社会保障	1375・ 1376合 併号	2004.8	35～ 49
	04年公的年金改革の特徴とナショナル・ミニマム		國学院経済学	52-3・4 合併号	2004.9	3～ 63
	不安定雇用・労働条件格差の拡大と労働組合の役割		賃金と社会保障	1384	2004.12 下旬号	16～ 22
小澤 薫	農村労働力の堆積と還流	長野県伊那市の生活実態調査をもとに	経済学論纂 (中央大学)	44-3・4	2004.2	101～ 135
小柳治宣	*社会保障の源流	ドイツ社会保障の形成過程	朝文社		2004.6	223
	ドイツにおける年金改革の動向		週刊社会保障	58- 2289	2004.6	50～ 53
	*いま読んでおきたい介護の本50冊		朝文社		2004.11	102
垣田裕介	Homeless People in Japan: Characteristics, Processes and Policy Responses		市大社会学 (大阪市立大学)	5	2004.3	7～ 20
	ボランティア組織によるホームレス支援の実例 (*中村健吾ほか編著『欧米のホームレス問題(下) 一支援の実例』第1編「イギリス」第4章に所収)		法律文化社		2004.3	45～ 65
	General Characteristics of Rough Sleepers through the “National Survey of Homeless People in Japan” (and Toshiko YOSHINAKA)		大分大学経済論集(大分大学)	56-2	2004.7	68～ 92
	なぜ大阪にホームレスが多いのか		大阪保険医雑誌(大阪府保険医協会)	451	2004.7	22～ 25
片岡洋子	安定雇用崩壊のその後	「自分のキャリアは自分で」は可能なのか	Int' lecowk : 国際経済労働研究	59-2	2004.2	22～ 24
金持伸子	災害が低所得階層におよぼす諸影響	求められる最低生活水準の確立	安居楽業(東亜細亜居住学会論文集)	1	2004.9	37～ 44

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
神尾京子	在宅(家内)労働ではたらく女性 (*日本婦人団体連合会編『女性白書 2004-世界の流れと日本の女性』所 収)	世界各地でひろがる 「家内労働」現勢図	ほるぷ出版		2004.8	75～ 80
川越 修	*社会国家の生成	20世紀社会とナチズム	岩波書店		2004.2	240, 29
	都市型社会の制度的基盤	20世紀前半のドイツに おける母子保険制度を めぐって	歴史と経済	183	2004.4	20～ 27
河西宏祐	規制緩和と労使関係の変化	私鉄産業A社の事例研 究(2)	人間科学研究 (早稲田大学)	17-1	2004.3	49～ 66
北 明美	児童手当制度におけるジェンダー問 題(*大沢真理編『福祉国家とジェ ンダー』所収)		明石書店		2004.1	159～ 198
	ケーズ・ホッテル「オランダの奇 跡?」(*エスピン・アンデルセン、 マリーノ・レジーニ編『労働市場の 規制緩和を検証する』伍賀一道、北 明美、白井邦彦、澤田幹、川口章訳 所収)(翻訳)		青木書店		2004.2	194～ 224
	G. エスピン・アンデルセン「規制 をめぐる諸事情」(*エスピン・アン デルセン、マリーノ・レジーニ編 『労働市場の規制緩和を検証する』 伍賀一道、北明美、白井邦彦、澤田 幹、川口章訳所収)(翻訳)	失業との相関関係の再 検討	青木書店		2004.2	109～ 125
	アンダース・ビュルクランド「違う 道をゆく」(*エスピン・アンデルセ ン、マリーノ・レジーニ編『労働市 場の規制緩和を検証する』伍賀一道、 北明美、白井邦彦、澤田幹、川口章 訳所収)(翻訳)	デンマークとスウェー デンの労働市場政策	青木書店		2004.2	162～ 193
	G. エスピン・アンデルセン「労働 市場の規制で不利益を受けるのは誰 か?」(*エスピン・アンデルセン、 マリーノ・レジーニ編『労働市場の 規制緩和を検証する』伍賀一道、北 明美、白井邦彦、澤田幹、川口章訳 所収)(翻訳)	数量的実証	青木書店		2004.2	71～ 108
	児童手当と児童扶養手当(*アジア 女性資料センター人権ワークブック 作成委員会編『ジェンダーと人権ワ ークブック』所収)	よく似た名前の二つの 制度は何のため?	アジア女性資 料センター		2004.4	29

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
北 明美	日本の児童手当制度の展開と変質(下)	その発展を制約したものの	大原社会問題研究所雑誌	547	2004.6	32～47
	児童手当制度のアイロニー		季刊経済理論	41-2	2004.7	15～27
木下 順	森杲氏の書評に答えて A Reply to "Manual and Mechanical Training in the Period of the Second Industrial Revolution" by Takashi Mori (概要同誌2002年9月号に掲載された、森杲氏の拙著『アメリカ技能養成と労資関係』ミネルヴァ書房、2000年にたいする書評に答えたもの)		アメリカ経済史 研究 (Journal of American Economic History (Japan))		2004.9	63～71
金 智美	*高度経済成長期における「高齢者保健福祉政策レジーム」の形成	川崎市の高齢者保健福祉政策過程の分析を通じて	お茶の水女子大学21世紀COEプログラム 誕生から死までの人間発達科学 平成15年度公募研究成果論文集 (お茶の水女子大学人間文化研究科人間発達科学専攻・COE事務局)		2004.11	33～45
木村隆之	雇用政策の展開	経済構造調整期以降を中心に	経済論叢 (京都大)	173-1	2004.1	90～113
木村保茂	鉄鋼業の合理化と労使関係		北海道大学大学院教育学研究科紀要	94	2004.10	1～36
木本喜美子	ポジティブ・アクション (*北九州市立男女共同参画センター編『女性と労働-ジェンダー白書2』所収)		明石書店		2004.3	122～136
	家族と企業社会 (*渡辺治編『変貌する<企業社会>日本』所収)	歴史的変動過程	旬報社		2004.7	299～340
	現代日本の女性 (*後藤道夫編『日本の時代史28 岐路に立つ日本』所収)		吉川弘文館		2004.9	162～194
	解説『紛争下のジェンダーと民族』(*シンシア・コウバーン著『紛争下のジェンダーと民族』所収)		明石書店		2004.10	367～372

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
久木元真吾	生活設計論の現在	「自分」に基づく生活設計の困難	生活経営学研究(日本家政学会生活経営学部会)	39	2004.3	62～70
	書評:小杉礼子『フリーターという生き方』		理論と方法(数理社会学会)	19-2	2004.9	269～271
草原光明	東アジアの工業発展と産業構造調整(*古賀義弘編著『日本産業と中国経済の新世紀』所収)		唯学書房		2004.3	37～51
工藤 正	障害者雇用と企業の人的資源管理(*岩内亮一・梶原豊編著『現代の人的資源管理』所収)		学文社		2004.4	105～126
	先進国の障害者雇用の現状と日本の課題		世界の労働(日本ILO協会)	54-11	2004.11	10～18
熊沢 誠	大阪市民の就労意識(*大阪市女性協会編『就労に関する市民意識調査報告』所収)	2003年市民意識調査解説	大阪市女性協会		2004.3	70～77
	その名に値する労働組合のために		生活経済政策(生活経済政策研究所)	87	2004.4	2～7
	リストラとワークシェアリング(*『日本の歴史 現代9:ものをつくることと働くこと』所収)		朝日新聞社		2004.9	282～283
	能力・成果主義人事管理を考える	職場としての私立大学にふれて	日本の私立大学(日本私大教連)	15別冊	2004.12	1～34
倉田 剛	*少子高齢社会と住宅のライフスタイルと住宅	持家資金の福祉的選択	ミネルヴァ書房		2004.8	304
	ハワイ州オアフ島の建設事情と住宅市場		都市住宅学(都市住宅学会誌)	47	2004.秋	154～159
黒田慶子	アンパイドワークと家事労働(*池内靖子他編『21世紀のジェンダー論』所収)		晃洋書房		2004.7	142～151
	ストーリーのなかのジェンダー(*池内靖子他編『21世紀のジェンダー論』所収)	『プリティ・ウーマン』と『エリン・プロコピッチ』	晃洋書房		2004.7	11～19
黒田兼一	GMランシング工場	工場リストラとUAW	経済	106	2004.4	120～129

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
黒田兼一	GMグランドリバー工場	ブラウン・フィールド地区をリーン生産方式に変える	経済	107	2004.8	134～143
	UAWの支部を訪ねて	リーン生産システムの受容と抵抗	経済	109	2004.10	166～175
郡司篤見	ケアの質向上への取り組みとその課題		海外社会保障研究	149	2004WINTER	3～16
神代和欣	給付と負担：世代間扶養と世代間公平の争点		年金と経済(年金研究総合センター)	22-5	2004.2	5～12
	*産業と労使(改訂)		放送大学教育振興会		2004.4	336
	わが国最低賃金制の現状と課題		社会政策学と賃金問題(社会政策学会誌)	12	2004.9	99～114
	*労働組合		労働政策研究・研修機構		2004.11	198
	パートタイム労働者への年金権の拡大		季刊労働法	205	2004.6	138～151
河野すみ子	1960年代の医療保険制度改革に関する諸議論	日本医師会と健保連の主張を中心に	医療・福祉研究	14	2004.3	120～130
伍賀一道	日本経済の現局面は職場と働き方をどのように変えているか		医療・福祉研究	14	2004.3	4～10
	労働基準の緩和と労基法・労働者派遣法改正	非正規雇用の拡大を中心に	技術教育研究	64	2004.7	1～9
	*Agency temporary work and government policy in contemporary Japan(John Burgess & Julia Connell eds., International Perspectives on Temporary Agency Work) (& Asuka SATO)		Routledge		2004.8	112～128
木暮雅夫	キャノンにおける社内研修制度の展開過程		紀要(日大経済科学研究所)	34	2004.3	85～100
小関隆志	都心部再開発(*建設政策研究所編『「都市再生」がまちをこわす』所収)		自治体研究社		2004.5	52～71
	私たちの住みたい都市(*建設政策研究所編『「都市再生」がまちをこわす』所収)		自治体研究社		2004.5	184～197

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
小関隆志	社会的責任投資 (SRI) と非営利・協同セクターの役割・課題	コミュニティ投資を中心として	いのちとくらし (非営利・協同総合研究所)	9	2004.11	48～54
	書評：山本啓ほか編著『NPOと法・行政』		ノンプロフィット・レビュー (日本NPO学会)	4-1	2004.12	53
小林謙一	*介護事業の人事・給与管理と経営状況に関する実証的研究	アンケート調査報告	生活経済政策研究所		2004. 4	5～45
	老人保健施設の職員構成と労働・厚生条件	人手不足, 能力開発, 人事・給与	看護部マネジメント	183	2004. 4	3～12
	介護事業の経営主体と人事・給与管理	法人などの種類別比較	労働の科学	59-6	2004. 6	43～48
	介護職員の雇用形態の多様化と人事・給与管理		大原社会問題研究所雑誌	548	2004. 7	39～55
	介護事業の経営主体と人事・給与管理	法人などの種類別比較	労働の科学	59-7	2004. 7	52～55
	介護事業の経営主体と人事・給与管理	法人などの種類別比較	労働の科学	59-8	2004. 8	54～59
	老人保健施設の人材育成 (*『介護サービス人材教育事例集』所収)	27施設へのコメント	経営書院		2004. 9	30～33
	介護サービス情報開示の標準化	シルバーサービス振興会の中間報告	介護人材Q&A	創刊号	2004.10	15～20
小森良夫	書評：戸木田嘉久著「労働運動の理論発展史」		前衛 (日本共産党中央委員会)	771	2004. 1	179
	*世界の労働者のたたかい－世界の労働組合運動の現状調査報告－2004年版第10集(フィリピン・インドネシア・マレーシア・タイ・ベトナム・インド)		全国労働組合総連合		2004. 4	13～35
小山秀夫	ケアプラン再考	経営戦略講座第10回	月刊介護保険(法研)	95	2004. 1	68～69
	先行者利得	経営戦略講座第11回	月刊介護保険(法研)	96	2004. 2	68～69
	人材育成戦略	経営戦略講座最終回	月刊介護保険(法研)	97	2004. 3	68～69
	*訪問看護ステーションのマネジメント AtoZ		医学書院		2004. 4	1～175

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
小山秀夫	痴呆医療・介護に関する制度の現状と課題	(講座：地方関連制度を学ぶ) シリーズ3：痴呆を支える社会システム第1回	Cognition and Dementia (メディカルレビュー社)	3 (2)	2004.4	93 (201)~95 (203)
	論説 少子高齢化時代の持続性のある社会保障		東京の国保(東京都国民健康保険団体連合会)	527	2004.4	8~10
	急性期医療のあり方を確立して長期療養のスタンスを定める	(特集：診療報酬改定と介護報酬改定1年—その評価と対応—) 解説3：療養病床にとっての診療報酬と介護報酬の改定	LTC(日本療養病床協会)	43	2004.7	17~20
	高齢者の医療制度の課題	特集：高齢社会の福祉	教育と医学(慶応義塾大学出版会)	52 (7)	2004.7	28 (616)~36 (624)
	Protein energy malnutrition 患者の食事・栄養サービス(NCM)に関する研究	公的病院連合加盟病院における実態調査	病院管理(日本病院管理学会雑誌)	41 (Suppl.)	2004.8	161
	栄養食事指導の実態と効果分析に関する研究(第1報)	一般病院における栄養食事指導の実態	病院管理(日本病院管理学会雑誌)	41 (Suppl.)	2004.8	218
	栄養食事指導の実態と効果分析に関する研究(第2報)	療養型病床群における栄養食事指導の実態	病院管理(日本病院管理学会雑誌)	41 (Suppl.)	2004.8	219
	MB賞ヘルスケア部門受賞組織にみる経営品質の取り組み		病院管理(日本病院管理学会雑誌)	41 (Suppl.)	2004.8	296
	〈時評〉介護療養型施設はどうなるのか		月刊介護保険(法研)	103	2004.9	22~23
	*病院のDON—看護管理で病院がよみがえる		医学書院		2004.11	1~183
近藤克則	回復期リハビリテーション病棟		総合リハビリテーション	32	2004	305~311
	病院革命	英国保守党の医療費抑制で100万人の待機者	エコノミスト	31	2004	~
	在宅死の意味を問う	在宅死至上主義を超えて	文化連情報	310	2004.1	38~46

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
近藤克則	New Public Healthのパラダイム－ 社会疫学への誘い・3	人間関係と健康	公衆衛生	68-3	2004.3	224～ 228
	回復期リハビリテーション病棟のイ ンパクト	政策評価の立場から	リハビリテー ション医学	41-4	2004.4	214～ 218
	New Public Healthのパラダイム－ 社会疫学への誘い・4	なぜ社会経済的因子が 健康に影響するのか	公衆衛生	68-4	2004.4	306～ 310
	社会的ネットワークと主観的健康感 (馬場康彦と共著)	縦断分析による検討	季刊家計経済 研究	62	2004.4	59～ 67
	医療経済的評価など多面的評価の重 要性		Geriatric Medicine	42-5	2004.5	567～ 571
	New Public Healthのパラダイム－ 社会疫学への誘い・5	抑うつ－社会と身体的 健康をつなぐもの (1)	公衆衛生	68-5	2004.5	387～ 391
	*「医療費抑制の時代」を超えて	イギリスの医療・福祉 改革	医学書院		2004.5	319
	*在宅高齢者の終末期ケア (宮田和 明・樋口京子と共編著)	全国訪問看護ステーシ ョン調査に学ぶ	中央法規		2004.6	264
	New Public Healthのパラダイム－ 社会疫学への誘い・6	主観的・心理的因子・ 認知－社会と身体的健 康をつなぐもの (2)	公衆衛生	68-6	2004.6	477～ 482
	New Public Healthのパラダイム－ 社会疫学への誘い・7	生き抜く力－社会と身 体的健康をつなぐもの (3)	公衆衛生	68-7	2004.7	562～ 568
	介護保険制度とその問題点		リウマチ科	32-2	2004.8	185～ 193
	New Public Healthのパラダイム－ 社会疫学への誘い・8	社会のありようと健康 (1)－相対所得仮説	公衆衛生	68-8	2004.8	638～ 643
	New Public Healthのパラダイム－ 社会疫学への誘い・9	社会のありようと健康 (2)－ソーシャル・キ ャピタル	公衆衛生	68-9	2004.9	721～ 727
	New Public Healthのパラダイム－ 社会疫学への誘い・10	社会のありようと健康 (3)－介入すべきは個 人か社会か	公衆衛生	68-10	2004.10	815～ 820
New Public Healthのパラダイム－ 社会疫学への誘い・11	社会疫学の課題 (1) 基礎科学としての社会 疫学	公衆衛生	68-11	2004.11	893～ 897	
New Public Healthのパラダイム－ 社会疫学への誘い・12	社会疫学の課題 (2) 社会のための科学・21 世紀のための科学	公衆衛生	68-12	2004.12	981～ 986	

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
斎藤 力	雇用保険制度の外に置かれた人た ちをめぐる問題と改善課題		総合社会福祉 研究	24	2004. 3	54～ 63
	「労働市場の構造改革」を推進する 雇用行政		季刊労働総研 クォータリー	55.56	2004.11	15～ 24
桜井善行	戦後日本における「企業福祉」研究		社会理論研究	5	2004. 7	121～ 132
	企業戦略と「企業福祉」	トヨタにおける事例から	経済科学通信	106	2004.12	47～ 53
桜林 誠	産業報国運動に関する東条英機陸軍 次官通牒の分析		大原社会問題 研究所雑誌	550. 551	2004. 9- 10	51～ 64
佐々木貴雄	医療保険における保険者機能	リスクに応じた機能強化	一橋論叢	132-2	2004. 8	156～ 173
	医療保険における医療内容の決定	患者と保険者による参加の可能性	社会保険旬報	2229	2004.12	6～ 14
佐藤 忍	日本における外国人IT技術者		香川大学経済 論叢	77-2	2004. 9	17～ 54
佐藤卓利	福祉サービス「準(疑似)市場論」 の覚え書		賃金と社会保 障	1361. 1362	2004. 1	64～ 72
	介護保険制度の見直しと自治体福祉 政策の課題		賃金と社会保 障	1381	2004.11	4～ 18
柴田謙治	*コミュニティーワークの理論と実 践を学ぶ(濱野一郎・野口定久と共 編者)		みらい		2004. 6	204
芝田英昭	*社会保障の基本原則と将来像		法律文化社		2004. 3	190
	社会保険の社会保障における位置づ けと社会保障運動の課題		月刊保団連	825	2004. 6	22～ 27
	*ニュージーランド福祉国家の再設 計(監訳)		法律文化社		2004.12	394
	規制緩和と大國・市場国家ニュージー ランド(上)		学習の友	616	2004.12	61～ 67
庄谷怜子	フレンスブルク市(*中村健吾・中 山徹・岡本祥吾・都留民子・平川茂 編著『欧米のホームレス問題 下 - 支援の実例-』所収)	ホームレス生活支援の 先進的都市	法律文化社		2004. 3	92～ 105

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
白井邦彦	事態の根本的改善か、それとも悪化か？1980年代、90年代におけるイギリスの規制緩和と雇用（*G.エスピノーアンデルセン、マリーノ・レジーニ編、伍賀一道、白井邦彦 [ほか] 共訳『労働市場の規制緩和を検証する』所収）		青木書店		2004. 2	128～161
	フランスー規制緩和と無縁な国（*G.エスピノーアンデルセン、マリーノ・レジーニ編、伍賀一道、白井邦彦 [ほか] 共訳『労働市場の規制緩和を検証する』所収）		青木書店		2004. 2	259～288
	雇用保護制度と雇用失業との相関分析		青山経済論集	55-4	2004. 3	93～139
	量産組立型産業における人材活用戦略の新展開	生産工程業務での請負労働者活用拡大のメカニズム	青山経済論集	56-3	2004.12	31～63
愼 英弘	盲ろう者の生活状況に関する調査研究		研究紀要（花園大学社会福祉学部）	12	2004. 3	131～146
	在日外国人無年金障害者の生活に関する調査研究		人権教育研究（花園大学人権教育研究センター）	12	2004. 3	161～181
鈴木 玲	* “The Rise and Fall of Interunion Wage Coordination and Tripartite Dialogue in Japan.” in Harry Charles Katz, Wonduck Lee, Joohee Lee, eds. The New Structure of Labor Relations: Tripartism and Decentralization.		Cornell University Press		2004	119～142
	特集 若年労働者の就業をめぐる諸問題（上林千恵子と共著）（*『日本労働年鑑 第74集』所収）		旬報社		2004. 6	40～66
	労働組合再活性化戦略の研究サーベイ	制度と戦略の相互関係と3つの再活性化戦略の検討	大原社会問題研究所雑誌	548	2004. 7	9～24
	Brian K. Obach, Labor and the Environmental Movement, Rick Fantasia and Kim Voss, Hard Work.		大原社会問題研究所雑誌	552	2004.11	68～72
鈴木和雄	書評：E. P. トムスン『イングランド労働階級の形成』		経済理論（経済理論学会）	41・1	2004. 4	100～102

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
鈴木和雄	労働移転	スーパーマーケットにおける経験	弘前大学経済研究	27	2004.11	13～33
鈴木良始	Structure of the Japanese Production System	Elusiveness and Reality	A s i a n Business and Management	3-2	2004. 6	201～219
	セル生産方式普及の市場条件と技術展開の方向性 (*日本経営学会編『グローバル化と現代企業経営 (経営学論集 74集)』所収)		千倉書房		2004. 9	156～157
清山洋子	生活周期と日常生活時間	生活を時間の側面から考える	九州社会福祉研究	29	2004. 7	151～168
清山 玲	男女間賃金格差の構造とその要因及び改善策について		経済	102	2004. 3	148～152
	日本におけるパートタイム労働の現状と政策課題		社会政策学会第108回大会(法政大学)非定型労働部会報告		2004. 5	～
	ジェンダー平等政策の展開と雇用における「結果の平等」		大原社会問題研究所雑誌	547	2004. 6	1～16
	パートタイム労働の現状と政策上の諸問題		協同組合総合研究所研究報告書	135	2004.12	～
関口定一	アメリカにおける人事・雇用システムの変化と労使関係	人事・雇用システムの転換と労使関係	労務理論学会誌	13	2004. 2	63～80
	ジェネラル・エレクトリック社における先任権の形成	労働組合的慣行の経営的起源	企業研究 (中央大学企業研究所)	5	2004.10	37～77
芹沢寿良	成果主義賃金を考える	人事制度と労働組合	所報 (静岡県労働研究所)	8 (春季号)	2004. 4	5～22
	労働組合の責任論の高まりと労働組合幹部・活動家のあり方	韓国からの『労働組合リーダー論』	金属労働研究 (金属労働研究所)	69	2004. 5	42～55
	労働組合運動の怒りの奪還, 再生を	辛淑玉著『怒りの方法』を読んで	金属労働研究 (金属労働研究所)	70	2004. 7	24～27
	TOPIC・これでよいのか?労働組合運動	大企業労働組合運動のあり方への批判の高まり	勤労者通信大学2004年・月報労働組合ニュース (労働者教育協会)	8	2004. 9	16～19

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
芹沢寿良	アメリカ労働運動での組織の教訓は？(Q2)	労働組合の組織とたたかい方(補論)	勤労者通信大学2004年・月報労働組合ニュース(労働者教育協会)	8	2004.9	7~9
	「1人で入れる労働組合」とは？(Q3)	労働組合の組織とたたかい方(補論)	勤労者通信大学2004年・月報労働組合ニュース(労働者教育協会)	8	2004.9	9~12
	労働組合運動のなかの女性労働者(Q4)	労働組合の組織とたたかい方(補論)	勤労者通信大学2004年・月報労働組合ニュース(労働者教育協会)	8	2004.9	12~133
高須裕彦	書評：ジェームス・グリーン著、篠田徹訳『歴史があなたのハートを熱くする』	運動をよみがえらせたければ 忘れてしまった闘いの過去を思い出せ	大原社会問題研究所雑誌	549	2004.8	64~68
高瀬雅弘	戦前期青少年人口移動の歴史地理(*吉田文・広田照幸編『職業と選抜の歴史社会学—国鉄と社会階層—』所収)	離村青少年の属性からみた移動の性格	世織書房		2004.10	63~87
高田亮爾	企業間取引分業関係と中小企業		中小企業季報	128	2004.1	1~7
	中小企業研究の潮流と課題		伊賀隆先生学長退任記念論集		2004.1	87~113
	中小企業は「人なり」の真実		エコノミスト	82-15	2004.3	50~53
	デフレ経済化の中小企業経営		商工金融	54-7	2004.7	28~30
	「現代中小企業の経済分析—理論と構造—」再論	批判に答えて	流通科学大学論集—流通・経営編—	17-1	2004.7	1~14
	日本経済発展と中小企業(1)		流通科学大学論集—流通・経営編—	17-2	2004.11	29~38
高梨 昌	*雇用と能力開発の政策形成 ダイアログ編 資料編	証言資料シリーズ雇用政策関係	労働政策研究・研修機構		2004.1	807
	*若年新入社員の企業への定着と活用に関する調査研究(高梨昌編)		社会経済生産性本部		2004.2	181

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
高梨 昌	*働き盛りの世代の仕事と生活に関する追跡調査		労働問題リサーチセンター		2004.5	130
	*人材派遣の活用		エイデル研究所		2004.8	246
	*若者に希望と誇りをもてる職業を	若年雇用対策へ向けた提言	社会経済生産性本部		2004.11	83
	若年のキャリア開発を急げ	社会への移行	日本経済新聞		2004.4.2	～
	凋落する労働研究の復権を		国際経済労働研究	940	2004.5・6合併号	4～5
高野 剛	内職・家内労働と家族の変容 (*玉井金五・久本憲夫編『高度成長のなかの社会政策』所収)	大阪府を集例として	ミネルヴァ書房		2004.2	155～179
	家内労働に関する地方単独事業	大阪府認定内職あっせん事業を中心に	大阪市大論集	110	2004.11	1～19
高橋彦博	*協会の研究 (梅田俊英・横関至との共著)	法政大学大原社会問題研究所叢書	柏書房		2004.2	384
	中央労働学園における大河内一男教授		社会志林 (法政大学社会学部)	50-4	2004.3	144～162
高林秀明	*健康・生活問題と地域福祉	くらしの場の共通課題を求めて	本の泉社		2004.9	375
武川正吾	다케가와 쇼고 (김성원 역) 『일본의 사회정책과 복지국가론』 인간과 복지				2004.	
	(座長報告)「新しい社会政策の構想」に寄せて	第106回大会の前と後	社会政策学会誌	11	2004.3	67～77
	福祉国家と個人化		社会学評論	54-4	2004.3	322～340
	若い世代にとってのシニア期		JILI FORUM (生命保険文化センター)	13	2004.3	14～20
	福祉社会と社会保障 (*堀勝洋編『社会保障読本』所収)		東洋経済新報社		2004.4	3～31
	書評・宮本太郎編著『福祉国家再編の政治』「福祉国家研究の到達点と新たな出発」		季刊社会保障研究	40-1	2004.6	107～110
	分権化と新たな自治体像	地方分権改革と地域福祉の主流化	月刊福祉	87-1	2004.10	22～25

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
武川正吾	福祉国家論の展開		海外社会保障研究	148	2004.A utumn	32～ 38
	座談会 海外社会保障研究の展望		海外社会保障研究	148	2004.A utumn	3～ 31
	座談会ワークシェアとベーシック・インカム・福祉国家における新しい対立軸		海外社会保障研究	147	2004.Su mmer	3～ 18
武田公子	ドイツ財政をめぐる諸問題		財政と公共政策	26-1	2004. 2	87～ 96
	ドイツのNSM改革と『規制緩和』		月刊自治研	46-3	2004. 3	64～ 71
	日本型NPMと市民参加型財政運営 (*重森暁・田中重博編『構造改革と地方財政一分権的税財政システムへの展望』所収)		自治体問題研究社		2004. 7	231～ 263
	法人事業税の外形課税 (*日本租税理論学会編『租税原理から税制改革を検証』所収)	ドイツ営業税改革論議が示唆するもの	法律文化社		2004.11	1～ 16
	ドイツにおける自治体間財政調整の動向	牽連性原則と州・自治体間協議	京都府立大学 学術報告(人文・社会)	56	2004.12	105～ 119
竹中恵美子	*竹中恵美子が語る労働とジェンダー (関西女の労働問題研究会・竹中恵美子ゼミ編集委員会編)		ドメス出版		2004. 8	1～ 209
田中重人	無効回答の発生 (*渡辺秀樹・稲葉昭英・嶋崎尚子編『現代家族の構造と変容: 全国家族調査 (NFRJ98) による計量分析』所収)		東京大学出版会		2004. 1	25～ 37
	A Cross-National Comparison of the Gender Gap in Time-Use	Reanalyzing Data from Japan and Six Western Countries	東北大学文学 研究科研究年報	53	2004. 3	152～ 137
	Principal Earner and Accommodator in Household	An Illustration of Gender Stratification Process in Contemporary Japan	Gender Law and Policy Annual Review	1	2004. 6	25～ 48
	世帯のなかの所得核と調整役	現代日本における性別階層の過程	東北大学21世紀COEプログラム「男女共同参画社会の法と政策 ジェンダー法・政策研究センター」研究年報	1	2004. 6	31～ 43

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
田中拓道	フランス福祉国家の思想的源流 (一七八九～一九一〇年)	社会経済学・社会的共和主義・連帯主義—(1)	北大法学論集	55-2	2004. 7	17～83
	フランス福祉国家論の思想的考察	『連帯』のアクチュアリティ	社会思想史研究	28	2004. 9	53～68
	フランス福祉国家の思想的源流 (一七八九～一九一〇年)	社会経済学・社会的共和主義・連帯主義—(2)	北大法学論集	55-4	2004.11	175～232
田中洋子	'Between Self-responsibility and Social Security. Japan and the European Social Model from a historical perspective' in: Hartmut Kaelble and Gunther Schmid (Hg.), Das europäische Sozialmodell.	Auf dem Weg zum transnationalen Sozialstaat. Wissenschaftszentrum Berlin für Sozialforschung (WZB) -Jahrbuch 2004	Berlin, edition sigma		2004	167～213
	労働の未来	ドイツからの提言	社会政策学会誌	11	2004. 3	32～51
玉井金五	年金支給開始年齢と高齢者雇用		都市問題研究	56-1	2004. 1	61～71
	*高度成長のなかの社会政策 (久本憲夫と共編)		ミネルヴァ書房		2004. 2	iv, 250
	日本の年金改革を考える		国際経済労働研究	938	2004. 3	7～11
	生産性運動と新しい労働生活問題の展開 (*チャールズ・ウェザーズ, 海老塚明編著『日本生産性運動の原点と展開』所収)		社会経済生産性本部生産性労働情報センター		2004. 7	191～202
	新しい地域雇用対策と自治体 (*大阪市政調査会編『自治都市・大阪の創造』所収)		敬文堂		2004. 7	113～126
	社会政策から見たホームレス問題		大阪保険医雑誌	451	2004. 7	15～17
	日本社会保険の特質		経済学雑誌(大阪市大)	105別冊(後期)	2004.10	22～24
長南 仁	*日本の労使関係の実態	資本蓄積と労働運動	唯学書房		2004. 9	1～319
塚原康博	介護サービスの限度利用と金銭的価値に関する研究	墨田区の個票データを用いた実証分析	大原社会問題研究所雑誌	542	2004. 1	47～61

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
塚原康博	外来患者による大病院選択の規定要因	国民生活基礎調査の個票データを用いた実証分析	医療経済研究	14	2004.3	5～16
	福祉の生産アプローチの日本への適用	墨田区における訪問介護サービスを事例として	季刊家計経済研究	62	2004.4	68～72
	福祉政策の費用・効果分析	墨田区のショートステイを事例として	厚生指標	51-7	2004.7	28～33
	年金における未納・未加入問題の経済学的評価		年金と経済	23-2	2004.7	46～50
	医師の進路選択に関する考察(共著)	開業志向に注目して	医療と社会	14-2	2004.10	85～102
都留民子	「ある専門訳書における『擬人法への蹉跌』」に寄せて		大原社会問題研究所雑誌	543	2004.2	58～66
	フランスの参入最低限所得保障(RMI)をめぐる論議	RMI改正とRMA創設法	月刊自治研	46-2	2004.2	41～52
	欧米のホームレス問題(下)(*中村健吾・中山徹・岡本祥浩・平河茂との共編著)	支援の実例	法律文化社		2004.3	155～184
	ソーシャル・アクション(*濱野一郎編『コミュニティワークの理論と実践を学ぶ』所収)	野宿労働者の人権を守る広島夜回りの会の事例	みらい		2004.5	105～120
	広島在路上生活者(*日本住宅会議編『住宅白書2004-2005』所収)		ドメス出版		2004.6	61～64
	失業者と生活保護(下村幸仁と共著)	広島市の事例からの検討	季刊公的扶助研究	194	2004.7	15～31
	フランスの公的扶助	その仕組みと新しい動き	季刊公的扶助研究	195	2004.10	30～43
東久保浩喜	保健・医療の社会的責任と課題(*芝田英昭編著『社会保障の基本原則と将来像』所収)		法律文化社		2004.3	103～136
戸木田嘉久	大企業のリストラ規制は国民的課題	安心できる労働と生活。日本経済の再生のために	労働運動	476	2004.2	56～69
	これでいいのか、日本の労働運動	反転攻勢への契機と条件	経済	104	2004.5	148～163
富田義典	変容する技能(*久野国夫著『産業と労働のニューストーリー』所収)		法律文化社		2004.4	27～48

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
富田義典	書評：石田光男『仕事の社会科学』		大原社会問題研究所雑誌	547	2004.6	72～75
	1980年以降における製造業の変化と雇用構造の研究手法		佐賀大学経済論集	37-4	2004.11	123～144
戸室健作	書評：伊原亮司『トヨタの労働現場』		月刊東京（東京自治問題研究所）	249	2004.7	26～27
	電機産業における構内請負労働の実態		大原社会問題研究所雑誌	550, 551 合併号	2004.9, 10	17～32
豊田謙二	ドイツの介護付きホーム		ライフサポート研究5	16	2004.3	51～61
	*質を保障する時代の公共性	ドイツの環境政策と福祉政策	ナカニシヤ出版		2004.9	332
内藤和美	ケアマネージメントの専門性をめぐる研究動向 第2報（佐光恵子と共著）		上武大学看護学研究所紀要	2	2004.4	61～70
	女性と暴力（*井上輝子・江原由美子編『女性のデータブック第4版』所収）		有斐閣		2004.11	65～83
中井健一	社会福祉をめぐる状況と論点（*芝田英昭編『社会保障の基本原理と将来像』所収）		法律文化社		2004.3	137～168
	*社会福祉原論		文理閣		2004.9	1～249
長井偉訓	労働市場における規制緩和の現状と問題点（*久野国夫編『産業と労働のニューストーリー』所収）	IT・グローバル化としごとの未来	法律文化社		2004.4	72～93
中川 清	貧困の性格変化と社会生活の困難さ	「社会生活に関する調査」の意義	季刊社会保障研究（社人研）	39-4	2004.3	354～370
	家族をめぐる社会政策の展開と現局面		三田社会学（慶応大学）	9	2004.7	15～30
永田萬享	工業高校インターシップの展開と特徴	受け入れ事業所の具体的な展開事例を通して	福岡教育大学紀要第4分冊	53	2004.2	371～388
	鉄鋼業の労働と教育訓練	大手製鉄所ライン部門を中心として	北海道大学大学院教育学研究科紀要	94	2004.10	37～114
中野 元	寡占化するスコッチ産業	本格焼酎産業との関連で	産業経営研究	23	2004.3	51～80

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
中村圭介	The Toyota Production System in Indonesia, in Production Networks in Asia and Europe: skill formation and technology transfer in the automobile industry, edited by Rogier Busser and Yuri Sadoi		Routledge Curzon: London		2004. 1	203～ 219
	多すぎるのか、それとも効率的か	日本の公務員	日本労働研究 雑誌	525	2004. 4	18～ 21
	春闘変容と不平等是認の風潮		ひろばユニオン	507	2004. 5	28～ 31
	部門別業績管理と人事管理	百貨店の事例から	日本労務学会 第34回全国大会 研究報告論集		2004. 6	43～ 50
	*行政サービスの決定と自治体労使 関係 (前浦穂高と共著)		明石書店		2004. 9	279
	*変わるのはいま	地方公務員改革は自らの 手で	ぎょうせい		2004.10	215
	組織再編をめぐる労使協議 (前浦穂 高と共著)	地方自治体の事例	社会科学研究	56-1	2004.11	113～ 136
	縮む労働組合		社会科学研究	56-1	2004.11	3～ 32
	提言：改革論議は事実から		日本労働研究 雑誌	532	2004.11	1
中村康子	「高齢者よゆずれ」の大合唱その意 味と課題		人間福祉研究	7	2004. 3	53～ 72
南雲和夫	*アメリカの悪夢 (ジョン・フェッ ファー編 南雲和夫監訳)	9.11テロと単独行動主義	耕文社		2004.12	319
浪江 巖	基本給の支払い方の規定要因につい て	賃金管理分析の課題と 理論的枠組み (2)	立命館経営学 (立命館大学 経営学会)	42-5	2004. 1	25～ 45
成本建二	論説「民法第177条と借地借家法第 10条における借地権の保護 (2)」		大東法政論集	12	2004. 3	3～ 40
	借地借家法第10条に関する考察	家族名義の建物登記の 対抗	日本不動産学 会誌	69	2004. 7	30～ 35
二木 立	医療経済・政策学の視点からみた21 世紀初頭の医療改革		社会保険旬報	2196	2004. 1	1～8
	*医療改革と病院	幻想の「抜本改革」か ら着実な部分改革へ	勁草書房		2004. 4	259, 9

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
二木 立	2004年診療報酬改定の特徴と2006年改訂の展望		月刊保険診療	59-7	2004. 7	19～25
	医療政策の将来予測の視点と方法		月刊保険診療	59-9	2004. 9	38～42
	後期小泉政権の医療改革の展望	介護保険・診療報酬改定も含めて	社会保険旬報	2223	2004.10	6～16
	資料整理の技法と哲学	医療経済・政策分野を中心として(3)～(5)	月刊保険診療	59	2004.1・2・3	101～104, 97～101, 207
	小泉政権の医療改革の中間総括		社会保険旬報	2199, 2200	2004.2・3	12～19
西成田豊	軍事費の融解		評論(日本経済評論社)	142	2004. 4	4～6
	労働運動の発展と転回		新訂増補:週刊朝日百科	103	2004. 5	7～8
	資本主義と肥満		ニューズレター(同時代史学会)	4	2004. 5	2～3
	*経営と労働の明治維新	横須賀製鉄所・横須賀造船所を中心に	吉川弘文館		2004. 6	7, 247, 5
	中国人強制連行はいかにして行われたか		中帰連	29	2004. 6	1～12
	マルクス・テーゼと現代史の重さ		本郷(吉川弘文館)	53	2004. 9	20～24
	産業革命期「工場」労働者の存在形態		一橋論叢	132-6	2004.12	21～51
西村万里子	医療制度改革と市場原理		公庫団信レポート		2004. 3	2～5
	NPO政府のパートナーシップとニューパブリックマネジメント型改革(*塚本一郎・古川俊一・雨宮孝子編『NPOと新しい社会デザイン』所収)		同文館出版		2004.12	191～215
朴 光駿	*社会福祉の思想と歴史	魔女裁判から福祉国家の選択まで	ミネルヴァ書房		2004. 2	318
	*高齢社会の老人福祉政策(韓国語)	国際比較の観点	ヒョンハク社(ソウル)		2004. 8	436
	中国における高齢者年金改革の動向と課題		社会学部論集(佛敎大学)	38	2004. 3	97～114

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
朴 光駿	儒教文化と高齢者の人権		ひとのみち (佛教大学)	9	2004.3	42～ 55
	韓・中・日3国の人口高齢化特性比較 (韓国語)		韓国社会福祉 (韓国社会福祉研究所)	9	2004.3	253～ 265
橋本宏子	「モデル年金」構想に異議あり		賃金と社会保障	1374	2004.7	4
	高齢女性のくらしと介護 (*日本婦人団体連合会編『女性白書 2004』所収)		ほるぶ出版		2004.8	34～ 38
	女性にとっての高齢期問題		賃金と社会保障	1380	2004.10	10
畑 隆	The Comparison of Flexibility between Japanese Companies & German Companies	Production & Wage	富士常葉大学 研究紀要	4	2004.3	187～ 194
	資料：英国自動車企業調査報告		富士常葉大学 研究紀要	4	2004.3	195～ 203
	英国自動車企業調査報告 (*古川澄明編『欧州自動車産業の構造変化とポスト・リーン生産システムの展開』所収)		平成14年度～ 平成15年度科学 研究費補助金 (基盤 研究 B (1)) 研究 成果報告書		2004.5	～
馬場康彦	社会的ネットワークと主観的健康感 (近藤克則と共著)	縦断分析による検証	季刊家計経済研究	62	2004	59～ 67
早川征一郎	国公賃金闘争の軌跡と現段階における課題に寄せて		国公労調査時報 (国公労連)	500	2004.8	4～ 14
	成果主義賃金のねらいと問題点		医療労働 (日本医労連)	467	2004.12	4～ 17
	書評：中村圭介・岡田真理子著『教育行政と労使関係』		大原社会問題 研究所雑誌	553	2004.12	75～ 81
板東 慧	失われた10年とコーポレートガバナンス		国際経済労働研究	939	2004.4	6～ 15
	高齢社会への社会政策的対応	日本の経験	国際経済労働研究	943	2004.9	6～ 16
	最近の韓国の労使関係と政治経済情勢について		国際経済労働研究	940	2004.5 ・6	17～ 27

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
樋口明彦	現代社会における社会的排除のメカニズム	積極的労働市場政策の内在的ジレンマをめぐって	社会学評論	55-1	2004.6	2～18
	移行できない若者たち(亀山俊朗と共著)	大阪地域職業センターにおける若年者自立支援事業の現状と課題	季刊家計経済研究	63	2004.7	60～68
	誰がひきこもりをケアするのか?(*『国・自治体のジェンダー政策』F-GENS Publication Series 3 所収)	家族におけるジェンダー公正の視点から見たひきこもり支援の構図	お茶の水女子大学		2004.12	120～127
久野国夫	*産業と労働のニューストーリー	IT・グローバル化としごとの未来	法律文化社		2004.4	270
	書評:藤本隆宏著『能力構築競争-日本の自動車産業はなぜ強いのか』		産業学会研究年報	19	2004.6	112～114
	中国・韓国の日系企業調査ノート		経済学研究	71-1	2004.11	95～108
久本憲夫	成果主義化の現状と今後		クォーターリー生活福祉研究	4-4	2004.1	17～31
	労働時間規制基準としての年収		電機ジャーナル	184	2004.1	18～19
	*高度成長のなかの社会政策(玉井金五と共編著)		ミネルヴァ書房		2004.2	iv, 250
	職業訓練政策の展開(*玉井金五・久本憲夫編著『高度成長のなかの社会政策』所収)		ミネルヴァ書房		2004.2	87～108
	多様な正社員を求めて		労働の科学	59-2	2004.2	13～16
	労働組合の生きる道	内憂外患をどう克服するか	生活経済政策	87	2004.4	14～21
	京都経営者協会・連合京都の『新しい多様な雇用のあり方研究会』を振り返って		国際産研	23	2004.5	50～52
	『多様な非正社員』から『多様な正社員』		都市問題研究	56-5	2004.5	92～103
	電機総研『「構造改革・連結経営下の労使関係研究会」報告』序章ほか		調査時報(電機連合)	346	2004.6	4～17, 106～112, 118～122, 133～135, 138～141

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
久本憲夫	非正規化する労働市場と雇用政策の方向		常陽アーケ	36-416	2004.6	10～15
	多様な正社員という発想	正社員と非正社員の混在化に対する1つの提案	オムニ・マネジメント	13-8	2004.8	12～15
	残業問題の難しさ	不払い残業の撲滅は、支払い残業の削減から	連合総研レポート・DIO	187	2004.10	3～4
	企業組織再編とグループ労連の役割		産政研フォーラム	64	2004.11	15～18
	企業組織再編下の労働組合	電機連合調査を中心に	国際経済労働研究 (Int'lecowk)	945	2004.12	16～21
日野秀逸	第7章 ユニバーサルな地域保健・医療 (*大沢真理他編『ユニバーサル・サービスのデザイン』所収)		有斐閣		2004.4	167～195
	医療生協の「4つの系譜論」批判	医療生協の出発点と形成過程類型の提案	日本医療経済学会会報	67	2004.9	1～43
	第7章 安心と信頼の地域保健・医療・介護ネットワーク (*川口清史・大沢真理編『市民がつくるくらしのセーフティネットー信頼と安心のコミュニティをめざして』所収)		日本評論社		2004.10	131～151
	医療における「第3の道」が問われるイギリス		国民医療研究所所報	206	2004.11	1～19
兵頭淳史	企業内組合を超えて (*久野国夫編『産業と労働のニューストーリー』所収)	日本労働組合の過去・現在・未来	法律文化社		2004.4	183～197
	労働組合像の交錯 (*熊野直樹・星乃治彦編『社会主義の世紀』所収)	戦後初期日本の労働運動と共産主義	法律文化社		2004.11	131～155
平井陽一	*中高年齢者雇用の実態とその対策に関する調査研究報告書		雇用・能力開発機構		2004.2	3～14, 31～36
平野寛弥	移行期中欧の社会保障制度の特徴と意義		福祉社会学研究 (福祉社会学会)	1	2004.5	129～148
廣川嘉裕	政策ネットワーク論から見るわが国の医療政策の変容		社会政策研究	4	2004.2	226～246
福井祐介	地域福祉情報化の2つの位相	山口県大島郡における事例から	共生社会学 (九州大学大学院人間環境学研究院紀要)	4	2004.2	17～30

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
福井祐介	過疎・高齢化地域の高齢者政策における専門職・行政職の事業関与	大島・紀南調査から	西日本短期大学社会福祉学科紀要	1	2004.4	23～30
	書評：小杉礼子編『自由の代償 フリーター—現代若者の就業意識と行動』		社会政策学会誌	12	2004.9	155～158
藤井伸生	資本（事業主）負担の比率を高めることが社会保障拡充の基本方向		隔月刊 資料と解説 社会保障	396	2004.9	77～81
藤原千沙	女性の所得保障と公的扶助（*大沢真理編『福祉国家とジェンダー』所収）		明石書店		2004.1	199～232
星 真実	千葉県のフリーター（2002年6月～2003年7月）		経済文化研究所紀要（敬愛大学）	9	2004.3	27～53
堀内隆治	関門地域における介護保険事業者の現状	関門地域における福祉産業の展開可能性を検討するための基礎資料	関門地域共同研究	13	2004.3	83～118
堀江孝司	ジェンダーと政治（*畑山敏夫・丸山仁編『現代政治のバースペクティブ』所収）	男の政治を変える	法律文化社		2004.11	164～184
益村真知子	1990年代以降のスウェーデンの経済政策運営	経済の安定成長と福祉の両立のための戦略	エコノミクス（九州産業大学経済学会）	9-1/2	2004.12	～
松田亮三	DRGプロジェクト	米国カリフォルニア州調査の概要	月間国民医療	200	2004.3	4～25
	医療（*真田直・宮田和明・加藤蘭子・河合克義『図説 日本の社会福祉』所収）		法律文化社		2004.3	192～205
	公衆衛生（*事典刊行委員会編『社会保障・社会福祉大事典』所収）		旬報社		2004.11	286～290
松溪憲雄	書評：佐口卓・土田武史『社会保障概説第四版』		早稲田商学	399	2004.3	97～101
	*精神保健福祉用語辞典（日本精神保健福祉協会・日本精神保健福祉学会監修）		中央法規		2004.7	619
	医療財源論（*エリアス・モシアロス [ほか] 編著 一圓光彌監訳）	ヨーロッパの選択	光生館		2004.10	331
松永桂子	大阪市製造業の現状について（工業集積研究会）	「大阪市製造業実態調査（2002年度）」データの分析	季刊経済研究（大阪市立大学）	26-4	2004.3	61～97

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
松永桂子	大都市小零細工業における技能形成と継承(*植田浩史編『「縮小」時代の産業集積』所収)		創風社		2004.9	77～106
松丸和夫	建設労働者の賃金問題	社会政策的視点から	建設政策	93	2004	2～5
	ドイツ公的年金制度改革とその争点		経済	102	2004.2	75～86
	生活視点からみた中高年雇用の意義		生活経営学研究	39	2004.3	21～25
	財界は青年をどのように「活用」したいのか	未来を展望しない人材戦略のゆくえ	学習の友	612	2004.8	42～51
	「公正な競争」と「公正な賃金」を土台に、労使交渉の積み重ねを		建設政策	99	2004.12	7～10
松村高夫	「階級」概念は時代遅れか？	イギリス社会史におけるポスト・モダニズムとその批判的検討	法学研究(慶応大)	77-1	2004.1	259～281
	書評：エリック・ホブズボーム『歴史論』		社会経済史学	69-5	2004.1	117～119
	書評：西成田豊『中国人強制連行』		歴史と経済	182	2004.1	75～77
松村文人	フランスにおける労使関係と労働組合の変化		大原社会問題研究所雑誌	549	2004.8	12～32
	フランスの労働運動の現状と課題		世界の労働	54-9	2004.9	44～54
	フランスの労働運動の現状と課題(*日本ILO協会編『先進国の労働運動と国際労働組織』所収)		日本ILO協会		2004.11	40～50
	書評：石田光男『仕事の社会科学』		日本労働研究雑誌	524	2004.2/3	100～103
	「逆」ワークシェアリング		産政研フォーラム	61	Winter 2004	28～32
水野谷武志	ジェンダー統計視点による労働時間分析	「労働時間の二極化傾向」の再検討	統計学	86	2004.3	20～30
	雇用労働者夫妻における生活時間配分の研究		研究所報(法政大学日本統計研究所)	32	2004.4	65～106
	日本における不払残業時間の実証的研究について	先行研究と今後の検討課題	北海学園大学経済論集	52-1	2004.6	1～23

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
嶺 学	*高齢者の在宅ケア一歩を進めるために (ワーキングペーパー No.15)	高齢者層に全人的復権を目指すリハビリテーションを (下)	法政大学大原社会問題研究所		2004.2	156
三宅明正	*歴史の中の現在 (展望日本歴史第23巻) (共編著)		東京堂出版		2004.9	391
宮崎理枝	動向-イタリアの福祉白書2003年		海外社会保障研究	146	2004.3	73~79
宮島尚史	労働 (者) 基本権侵害「改革」への批判		社会主義	496	2004.2	96~102
	暴力行為等処罰法の違憲無効	沿革, 内容および運用	法学会雑誌 (学習院大学)	39-2	2004.3	63~98
	共謀行為独立化罪 (案) の違憲無効	沿革と現時点の内外の政治状況から見て内容および運用の人権否定	法学会雑誌 (学習院大学)	40-1	2004.9	1~29
幸 光善	大分県における階級構成変化と企業労働		大分大学経済論集	56-1	2004.5	87~121
村上英吾	「ホームレス自立支援事業」と現代の雇用政策	「ホームレス生活者」の稼働能力活用の場と生活保障	経済集志 (日本大学経済学部)	74-3	2004.10	189~197
室住眞麻子	家族家計・家計内個人々人への収支配分・社会保障 (*大沢真理編『福祉国家とジェンダー』所収)		明石書店		2004.1	65~96
	書評・埋橋孝文編著『比較のなかの福祉国家』(ミネルヴァ書房, 2003年)		国際経済労働研究	938	2004.3	
	文献紹介・家計経済研究所編『ニュージージーランドの家族・家庭生活』(財務省印刷局, 2003年)		生活経営学研究	39	2004.3	78
	母親の収入と子どもの貧困防御	ジェンダー政策と子どもを中心とする家族政策の交点	帝塚山学院大学研究年報	6	2004.12	1~28
森ます美	(研究ノート) Joan Acker 「ジェンダー化された組織」論に関するノート		学苑: 人間社会学部紀要 (昭和女子大学)	761	2004.2	129~136
	社会政策学と賃金問題-座長報告	4報告へのコメント	社会政策学会誌	12	2004.9	91~95
森川美絵	高齢者介護政策における家族介護の「費用化」と「代替性」(*大沢真理編『福祉国家とジェンダー』所収)		明石書店		2004.1	131~158

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
森川美絵	医療の中の介護労働	寝たきり老人対策としての「付添」の制度化と問題化を手掛かりに	福祉社会学研究 (福祉社会学会)	1	2004.3	209～228
	「ケア・ワークの評価」論の視座	欧米における研究の検討	人文学報 (東京都立大学)	350 (社会福祉学20)	2004.3	65～103
谷沢弘毅	大規模港湾開発にともなう苫小牧市の都市形成とその課題		商経論集 (札幌学院大)	21.1	2004.8	61～89
	*近代日本の所得分布と家族経済	高格差社会の個人計量経済史学	日本図書センター		2004.12	xv, 600
山垣真浩	日本企業の経営権の特質とその原因		言語と文化 (法政大学)	創刊号	2004.2	173～202
	日本的労使関係の「効率性」と現実	「組織の経済学」にたいする疑問	一橋論叢	131-6	2004.6	630～650
山口厚江	高齢者介護サービスの質とその評価		作新学院経営論集 (作新学院大学)	13	2004.3	129～150
	高齢者介護ビジネスの特性と企業倫理		公益学研究 (日本公益学会)	4-1	2004.8	87～95
	高齢者介護ビジネスと企業倫理	グローバルゼーションと現代企業経営	経営学論集 (日本経営学会)	74	2004.9	222～223
山下袈婆男	*地域社会の変容と福祉研究		ミネルヴァ書房		2004.10	205 (はしがき, 目次を含む)
山田篤裕	The Public-Private Mix of Retirement Income in Nine OECD Countries: Some Evidence from Microdata and an Exploration of its Implications (*Martin Rein and Winfield Schmahl 編 Rethinking the Welfare State: the Political Economy of Pension Reform 所収) (& B.H.Casey)		Edward Elgar		2004.2	395～411
	*高齢者就業の経済学 (清家篤と共著)		日本経済新聞社		2004.10	244

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
山田篤裕	Who Bears the Burden of Social Insurance? (駒村康平と共著)	Evidence from Japanese Health & Long-term Care Insurance Data	Journal of The Japanese and International Economies	18-4	2004.12	565～581
	医療サービスへの公平なアクセス	OECD加盟国間の国際比較と残された分析課題	海外社会保障研究	149	2004.12	17～28
山田信行	エスニシティとインフォーマル化	企業間関係における媒介	駒澤大学文学部研究紀要	62	2004.3	19～40
	「ニュー・リッチ」形成にみる周辺社会 (*庄司興吉編『情報社会変動のなかのアメリカとアジア』所収)	「内部」過程としての階級構成の動態と展望	彩流社		2004.11	137～162
山田壽一	A Study on the Employee benefits in Japan, Europe and America: Based on a Survey of Actual Conditions in Japan and Britain.		商経論叢 (中央学院大学)	17	2004.3	148～173
山田三知子	*The Establishment of Long-Term Care Insurance and the Social Care Service System for Older People in Japan		The University of Sheffield (PhD thesis)		2004.3	～
山本 潔	*日本の労働調査	1945～2000年	東京大学出版会		2004.3	592
	*私論：東京大学における研究体制と労働問題研究史	1945～1993	山本潔 (私家版)		2004.8	149
	*「日本労働調査論」拾遺		山本潔 (私家版)		2004.10	156
山本興治	*東アジア都市会議研究部会報告書 I (日本編)		ジェトロ・アジア経済研究所		2004	65～130
	「太田ラッパ」の史実検証		山口県史研究	12	2004.3	116～132
	韓国人訪日バックツアー分析		関門地域共同研究	13	2004.3	61～80
	書評：玉井金五・久本憲夫編著『高度成長のなかの社会政策－日本における労働家族システムの誕生－』		国際経済労働研究	945	2004.11・12	24～25
山本 隆	地方自治体の福祉行財政構造に関する研究 (山本恵子・谷口泰司と共著)	高齢者ケアを中心にして	社会科学 (同志社大学人文科学研究所)	72	2004.2	389～426

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
山本 隆	イギリスの地域福祉と計画	費用負担の視点から	産業社会学論集(立命館大学産業社会学部紀要)	40-1	2004.6	27～45
	ローカルガバナンスと新たな公共性(上)(村上真・森裕亮と共著)		社会科学(同志社大学人文科学研究所)	73	2004.9	59～79
山本真実	少子化対策の中での地域社会と保育		地域開発	482	2004.11	19～23
山本麻由美	スウェーデンの一九九九年公的年金改革の検討		一橋論叢	131-2	2004.2	164～181
	公的年金制度改正から今後の厚生年金制度のあり方を考える		一橋研究	29-2	2004.7	81～91
横山寿一	福祉の市場化とは何か(1)	状況の整理	賃金と社会保障	1361.62合併号	2004.1	58～63
	福祉の市場化とは何か(2)	福祉の市場化と社会保障運動	賃金と社会保障	1366	2004.3	50～56
	介護保険制度「5年後の見直し」を問う		ゆたかなくらし	265	2004.3	16～18
	憲法に基づく医療保障と国民皆保険		月刊保団連	825	2004.6	16～21
	日本経済と社会のゆくえ		月刊女性&運動	263	2004.7	25～27
	介護保険見直しの論点と課題		月刊国民医療	205	2004.10	2～7
	介護保険制度の見直しと社会保障「構造改革」		民医連医療	387	2004.11	6～11
	社会保障構造改革の現局面		総合社会福祉研究	25	2004.11	41～50
吉澤昌恭	投資、投機、群衆行動(3)		広島経済大学経済研究論集	26-4	2004.3	77～87
	フェミニズムと家族(1)		広島経済大学研究論集	27-1	2004.6	1～15
	フェミニズムと家族(2)		広島経済大学研究論集	27-2	2004.9	1～34
	マネタリストとケインジアン(1)		広島経済大学経済研究論集	27-3	2004.12	61～86

著者	標 題	副 標 題	出版者(誌名)	巻号	出版年月	頁
吉田しおり	*医療財源論 (エリアス・モシアロス [ほか] 編著 一圓光彌監修 共訳)	ヨーロッパの選択	光生館		2004.10	117～142
吉田 誠	全自の賃金原則と日産分会の査定規制 (上)	1952年秋闘の事例より	大原社会問題研究所雑誌	547	2004. 6	48～60
	全自の賃金原則と日産分会の査定規制 (下)	1952年秋闘の事例より	大原社会問題研究所雑誌	548	2004. 7	25～38
	全自解散前後の日産の労使関係の動向	1953年争議後の新秩序形成の視点から	香川大学経済学論叢	77-3	2004.12	47～74
李 蓮花	医療保険改革 (*田多英範編『現代中国の社会保障制度』所収)	体制移行からみたその背景, 特徴と限界	流通経済大学出版社		2004. 2	69～104
	中国における高齢化, 市場化と社会福祉の「社会化」(*宇佐見耕一編『新興福祉国家の社会福祉・資料編: アジア・アフリカ・ラテンアメリカ』所収)	都市部の高齢者福祉を中心に	アジア経済研究所		2004. 3	23～44
渡辺 満	イギリスNHS (医療) と地方自治体 (介護) の関係		広島法学 (広島大学法学部)	27-3	2004. 1	1～22
	第5章 社会福祉 (*小泉博一・飯田操・桂山康司編著『イギリス文化を学ぶ人のために』所収)		世界思想社		2004. 9	83～101
渡部恒夫	近藤文二氏の所説は「社会政策の保守的=革新的二重性論」か, また社会政策概念と最小限綱領概念を峻別したか (2/3)		鹿児島経済論集 (鹿児島国際大)	44-3	2004. 1	179～205
	近藤文二氏の所説は「社会政策の保守的=革新的二重性論」か, また社会政策概念と最小限綱領概念を峻別したか (3/3)		鹿児島経済論集 (鹿児島国際大)	44-4	2004. 3	253～265
	米国のある学者のソ連解体の分析 (抄訳) (中国語から日本語へ)		地域経済政策研究 (鹿児島国際大大学院)	4・5 合併号	2004. 3	283～289
	ローザ・ルクセンブルクによる社会改良主義の解剖 (1)		鹿児島経済論集	45-2	2004. 9	153～173